



# 2014年4月12日 「子ども・子育て 支援新制度につい ての学習会」 宝塚のよりよい 保育を考える会 NEWS

2014年4月17日発行

## 平松知子先生による「子ども・子育て支援新制度についての学習会」

2014年4月12日「宝塚のよりよい保育を考える会」主催で「子ども子育て支援新制度についての学習会」が宝塚市西公民館で開催されました。

会場には大勢の方に足を運んでいただき、総勢「253名」の参加者で会は大盛況となりました。

中でも今回特筆すべきは、様々な方たちの参加があったという事です。宝塚市の後援の元で、兵庫県会議員、宝塚市会議員、宝塚市保育行政関係者、民生児童委員、公立保育所関係者、私立保育園関係者、宝塚市指定保育所関係者等、幅広い方たちに話を聞いていただきました。

### ・子ども・子育て支援新制度についての学習会

学習会の講師は名古屋市けやきの木保育園園長の平松知子先生です。平松先生は、子どもを中心にすえて保育実践と保育運動を重ねてこられた方です。保育関係者から多大な信頼を寄せられており、今回の学習会は、この方を是非お招きしたいということでお忙しい中、来ていただきました。

### ・講演内容・・・

平松先生は、①保育現場の実態、②保育士の専門性、③新制度になり保育がどう変わっていくか。という3点を中心にお話をされました。

その中で、子ども達との心打たれるエピソードをいくつか話してくれました。保育士は、子どもがおこなった問題行動にだけ注視するのではなく、「そうせざるを得なかった背景に思いをはせることが大切」「どんな行為にも必ず理由がある」とお話をされ、参加者の目には涙を浮かべる方が何人もおられました。そのような保育をするためにはどうしたらよいのか。現在の保育園、幼稚園、認定子ども園がおかれている現状と課題を具体的にお話していただきました。

「福祉としての保育」を守り、子ども達の笑顔は私たち大人が守っていく！ということ会場全体で確認し合いました。

私たちは、この学習会を通して大きく広がった輪をつなげ発展させていく事が、今後の「宝塚のよりよい保育を考える会」の大きな役割であると改めて感じました。

## 特集



子ども未来部部長による来賓あいさつ



実行委員による歌「空より高く」



第二会場の様子

## 【参加者の声】

- 福祉と教育の連携をずっとと思っています。まだまだ高い壁を何とかしないと、何のために動いているのかわからなくなってしまいます。（50代/市会議員）
- 新制度についてだけでなく、保育や子育てについても考える事ができ、とても良い時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。また、新制度になり、大人主体の子育てにならない為にどうすれば良いのか難しい問題だと改めて感じました。（20代/保育所保護者・保育士）
- 講演は、あっという間に時間がすぎ、子ども達の環境は、大人が守っていかなくてはならないという事を改めて感じました。親の立場として、今の現状はとてもありがたい状況だという事を再確認しました。今、仕事ができるありがたさ、子どもをあずけられる場

所がある事、そして、これからそれを守っていかなくてはならない事、少しの力でも多く集まれば。そう思います。（30代/保育所保護者）

- 保育の問題は社会の問題。介護などの問題も全てつながっている。社会全体の



宝塚ひよこ保育園卒園児よる太鼓

オープニング。ひよこ保育園卒園児による太鼓！力強い勇ましい姿を披露してくれました。

課題。しかし、一つ一つの問題はバラバラ。職員、保護者だけの問題意識は在園中にしか維持されない。どうつながっていくかー（50代/宝保連）

## アンケート集計（111名）

